

黒川寛子さん



の紹介

(5)サンゴ・アクアマリン
(6)新矢正夫先生

長谷川大輔君



今年三月、武山養護学校を卒業し

た、黒川寛子さん、長谷川大輔君がこの四月から『子どものへや』の新しい仲間として、週二日通う事になりました。我が作業所も、これで男性五人、女性二人の大所帯?になりました。

- (4)好きな歌（歌手）？ 童謡全般
(5)誕生石は？
(6)卒業時の担任の先生は？
伊藤文子先生

—長谷川大輔君—

①昭和五四年三月五日

- ②妹二人と僕の三人兄弟です。
③サビのきいた刺身と寿司
④安室奈美栄・アムラーです。

新入所員といつても、寛子さんと大輔君は武山養護学校時代に実習生として短い期間でしたが『子どものへや』作業所に通い、先輩所員達と食事や散歩をしたり、また総合福祉会館での音楽教室やスポーツ交流会で一緒に歌つたりゴロバレーを楽しんだことのある間柄だつたのです。

一日目の様子を紹介しましよう。

皆の熱い視線も何のその、「僕は眠いのだ！」と昼食も食べずに寝ていた大物の大輔君! 寛子さんは、部屋の中を確認するように見回して皆の様子をジーと観察している細かい心使いをする、可愛らしいお嬢さん。二人共笑顔がとても素敵でした。ここで自己紹介をして頂きます。

①生年月日は？
②何人兄弟ですか？
③好きな食べ物は？

昭和五三年十二月十七日

兄と私の三人兄弟です。

かぼちゃ・さしみ・魚・和食・

行 乗
F M つ 工
た 1 た
し 2 し に
ま ま ル
き M き 力

四月十四日（月）、今年度初めての社会見学に、福谷慎吾さんが行つてきました。今回は、『みなとみらい二十一地区』へ行きました。

R 横浜駅では、各ホームに上がる階段に、エスカルと言う

り換えて桜木町まで行きました。JR

京浜急行の久里浜駅から、快速特急に乗つて横浜まで行き、JRに乗り換えて桜木町まで行きました。J

R 横浜駅では、各ホームに上

がる階段に、エスカルと言つて

ました。階段昇降機が設置されていま

した。車椅子一台分のケーブルカーといつた感じで安定して移動ができます。ふだんは階段にぴったりと畳み込んで下さいます。慎吾さんも緊張する事なく、乗る事ができました。

そして桜木町まで一駅。桜木町のホームには、エレベーターがついています。

いるのですが、エレベーターで下り

いちご狩り

今年も皆でいちご狩りに行きました。いつもの散歩コースを、ちょっと足を伸ばした津久井の『にしわきいちごハウス』です。

黒川さんと長谷川君は初参加でした。興味深くいちご畑を見回したが、興味深くいちご畑を見回した後、ミルクを付けてつぶしたいちごを、ゆっくり味わって食べていました。いちごを丸ごとかじって、あつとう間に十数個食べてしまつた人、各々の食べ方で楽しんできました。

◎ありがとうございます

◇ご寄付

◇教育福祉連絡会

◇特総研

◇教育福祉連絡会

◇職員会議

◇花とみどりのまつり

◇五月行事予定

◇五月行事予定

チエッカーズ
サンゴ・アクアマリン
新矢正夫先生

あります。寛子さん・大輔君が作業所での日々を楽しく、気持ち豊かに安心して過ごすことができる様、微力ながらお手伝い出来たらと思います。どうぞ長い目でお付き合いを。

指導員 一重清子

い、私も一步を踏み出しました。

◎長谷川君のお母様から一言

：国立久里浜・横須賀市立・県立武

山養護学校を経て『子どものへや』に入所しました長谷川大輔です。趣

味は食べる事と音楽を聞く事です。

食べ物はミキサー食なれど、お刺身

や二・ウニとグルメです。音楽は賑

やかな曲が好きです。声をかけても

らうと良い顔ができます。見かけた

声をかけて下さい。笑顔でお応え

します。よろしくお願ひします。

◇介助ボランティア

・沢田文子様

・今江恭子様

・福田香代子様

・村田光恵様

・石川浩子様

(音楽教室)

・山本利子様

・大沢央子様

・新井光枝様

・大野静枝様

・山口美津枝様

・三浦寿美恵様

・飛栖郁子様

・最上堯子様

・山崎和子様

・細野清美様

・今江恭子様

・宮前浩子様

・大館百合子様

・垂見和子様

・堀田園子様

・上田順子様

・足立義子様

・高木洋美様

・一柳八重様

・川崎伸江様

・亀井 評様

・横須賀中央教会様・旭製作所

指導員 相川英里子

指導員 中田光子

こどものへや

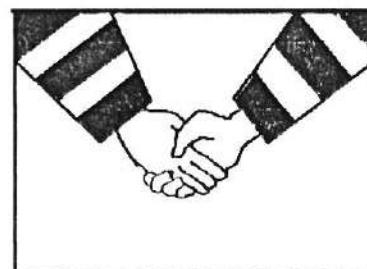
発行責任者

〒239

TEL, FAX (0468) 49-8349

滝川郁子

横須賀市長沢 1-12-30



社会見学

- ◇ 楽しい経験と新しい発見を求めて、街に出かけています。
- ◇ 公共交通機関の電車を利用する事を心がけています。この
- ◇ 四年間で、エスカレーターやエレベーターが設置される駅
- ◇ が増え、所員の家に近い駅を利用できるようになりました。
- ◇ 今回も社会見学の報告をします。

四年目を迎える 更に広い見聞を

向山さんの社会見学は、横須賀中央へ

五月十二日（月）、暑からず寒からず、五月晴れの心地よい風に吹かれながら「中央へ行こう」ただそれだけの何の目的も持たず、行く先もはつきりしていないという、なんとも計画性のない社会見学に連れ出されたのは向山朋美さんでした。

十時に福祉会館でお母さんと別れ汐入駅から電車に乗りいざ中央へ！

中央駅で迎えてくれた親切な駅員さんのリードで、まだ出来て間もないエレベーターを使い、改札を出ました。駅前の広場を渡りWALKへと向かう途中、車椅子マークの電話ボックスがありました。中に入ると見た目よりかなり広く、向山さんの背よりちょっと大きめの車椅子と、お供の三人が入つても、まだまだ余裕がありました。そしてそこから「こどものへや」で留守番をしている皆に、楽しさのおすそ分けコールをしてみました。

WALKに入ると先ず一階の靴屋さんをのぞき、この夏流行しそうな素敵な靴いろいろと、向山さんの足に合わせてみました。その中にとても似合う靴を見つけたのですが、ちょっとお値段が高いので、残念な

がら今日は写真だけ撮らせてもらいあきらめました。

次のお店で、今度はサングラスの品定めが始まりました。あれやこれやと顔にかけて、似合う似合わないを散々した挙げ句、1000円といふお手ごろ価格に不安を感じ、やはり

今回の四回目になる滝川充君の社会見学は、さあどこにしよう……？ 水族館見学と海を眺めながら、海風に吹かれに行く事にしました。

四月二十五日（金）晴天、暑からず寒からず、とても気持ちの良い天気には恵まれて、八景島シーパラダイスへ行きました。

当日の交通機関利用は、追浜駅→（京急）→金沢文庫駅→（タクシー）→八景島シーパラダイス。帰りは八景島駅→（シーサイドライン）→金沢八景駅→（京急）→追浜駅のコースで一日を過ごしてきました。

滝川充君の満足度は？

最初は落ち着かずそわそわしていましたが、そのうち慣れてきて全体の様子を見ていました。個々の魚を見たが、そのうち慣れてきて全体の

輝き、嬉しそうな顔になり、手摺に腕をのせて顔を置き、風に吹かれる彼は穏やかな顔。時間の経つのを忘れ、しばし海を眺めていました。

「そろそろ帰ろうか、充君」「もう少し」「お願い、もう少し」と手摺にしがみつく。「じゃ、後少しね」「うんうん」、それでも後ろ

芸術劇場でクラシック鑑賞

おやこ劇場

副所長 福谷 恵美子

最初に一つひとつ楽器の紹介があ
た。ハーモニー交響楽団による「セロ弾
きのゴーシュ」という音楽物語でし

れを遮すという話を聞いた事があり
ますが、付き添いの親達も日頃のあ
わただしさを忘れゆつたりとした気
分で、心やすらぐ時を過ごしていた
ように思います。



人様にお聞かせするのも恥ずかしいのですが、好きな事はとなると、
「のび太」ではありませんが昼寝で
す。

出来ればゴロゴロしております。好きな本でも読みながらそのうちスーと寝ていたなんてのが一番。(そんな事みつ

ともないから書くな！」と家の者が怒りますが、これが私よと開き直つて、もう少し詳しく説明すると、ホラー小説を読んでいる時は怖いけど止められない状態で、昼寝どころではなくなります。

時代小説も好きなジャンルですが、一番好きだつた藤沢周平さんがこの一月に亡くなられたのはショックでした。もう新しい小説が書き下ろされる事がないと思うと、とても寂しく大事に大事に少しづつ読んでいま

賛助会員を
募つていま

『ことものへや』を支えると共に

『子どものへや』を支えると共に
重度重複障害者の通所施設建設にも
ご協力を頂ければ幸いです。

よろしくお願ひいたします。
振込先……横浜銀行久里浜支店
口座番号……一一五四一二一
コミュニケーションルーム
『ことものへや』

六月行事予定

○ ありがとうございます

◇介助ボランティア

・沢田文子様
・福田香代子様
・石川浩子様
・今江恭子様
・村田光恵様

(音楽教室)

・ 石田妙子様
・ 細野清美様

・山口美津枝様
・三浦寿美恵様
・飛栖郁子様
・最上堯子様
・山崎和子様
・川名道子様
・沢田文子様
・土川八重様
・杉原静子様
・安田靖子様
・大舎百合子様
・垂見和子様

・熊本美枝子様
・足立義子様
・堀越君枝様
・小屋友江様
・上田順子様
・松本登美子様

を澄ましていました。真一君は、始まつてすぐにスヤスヤ。きっと夢の中で聴いていたのでしょうか!? 時々いらついて手を振り足を振り、ちよつと落ち着かなかつたのが慎吾君だけ。真一君のお母さんに言わせる
と、まるで指揮をしているかのよう
に見えたそうです。

クラシック音楽は、右脳を刺激し
て、精神的ストレスの解消・心の疲

人様にお聞かせするのも恥ずかしいのですが、好きな事はとなると、のび太、ではありますんが昼寝で一す。

わが家にはゴロゴロしても小言を言うドラエモンもいませんので、暇が出来ればゴロゴロしております。好きな本でも読みながらそのうちスーと寝ていたなんのが一番。（そんな事みつともないから書くな！）と家の者が怒りますが、これが私よと開き直つて、もう少し詳しく説明すると、ホラー小説を読んでいる時は怖いけど止められない状態で、昼寝どころではなくなります。

時代小説も好きなジャンルですが一番好きだった藤沢周平さんがこの一月に亡くなられたのはショックでした。もう新しい小説が書き下ろさる事がないと思うと、とても寂し大に大事に大事に少しずつ読んでいま

漫画も昼寝の友には相性が良いのです。坂田靖子や萩尾望都等の好きなSFやファンタジー系の漫画を枕元において、ゴロリと寝ころんで読めば極楽々。絵本も子供だけとは限らず、大人が読んでも楽しいのが沢山あります。ピーターラビットは初めて見た時から大好きになりました。安野光雅の旅の絵本は、色々な仕掛けを搜すのが楽しくわくわくしてしまいます。でもどうも知性と教養からは遠いのですが、昼寝にそんな事はお呼びではないのです。

この時間は主婦でもなく母親でもなく、五十何歳の年齢もチヨット横において征子だけになれます。こんな話をお便りに書いて良いのかなと不安ですが、他のお母さん方は、知性と教養を兼ね備えていますので、ご心配なく…。

これまで大きな病気もせず、元気で毎日を過ごしていました。そしてほとんどの所員が四ヶ月に一回、歯科で定期検診を受け、虫歯が少ないのも感心させられます。

作業所で日常心掛けている事は、今世間を騒がしている食中毒『O-57』の予防として、良く手を洗う事とか、又、所員はよく手が口に行き易いので清潔にしてあげたり、昼食後の歯磨きをしつかりやる事等です。

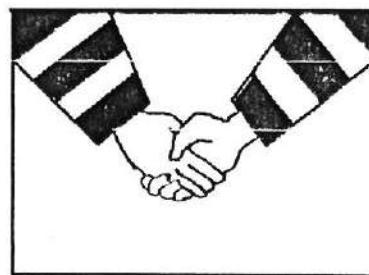
五月からは二人の入所をきっかけに、資格ある指導員による所員のお母さんと一対一の歯磨きの練習も始まりました。又、一ヶ月一回のボランティアさんによる給食も、カロリー計算がしつかりなされたヘルシーメニューとなっています。

これからも、所員がよりいつそう健やかで楽しい生活が送れるよう、専門の保健婦さんや栄養士さんのご指導をお願いできたらと思つております。

指導員 前田邦子

こどものへや

発行責任者 滝川郁子
〒239 横須賀市長沢 1-12-30
TEL, FAX (0468) 49-8349



こどものへやの社会見学

中野真一君は横須賀中央へ

わがまま体験 楽しんだ！

行きたい、見たい、やつてみる

十九日（水）、中野真一君は三笠公園から中央へ社会見学に行きました。
始まりです。

出発点は久里浜駅、久しぶりの電車に大きな声を出し、身体を揺らして感動、楽しい一日の

広々とした公園、緑の散歩道はせせらぎの音を聴きながらゆつくりと歩くと、噴水の広場に出来ます。初夏を思わせる良い天気、小さな子どもづれの米国人グループが散歩の途中か、ベンチで休んでいる様子です。

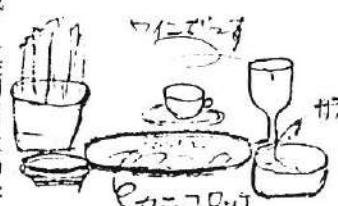
「こんなにちは！」と声を掛ける、
「こんにちは！」と笑顔が返つてくる、
すかさず自己紹介。二コ二コしながら手まねと単語の英会話？何とか通じているみたいです。

五月に来日した私は、スペツシャルチームの先生です。一週間で帰国します」といろいろ話したい事がありそうですが、語学力の無い私と中野君

は笑顔で雰囲気作り、一生懸命頑張つて小さな親善交流も初体験。

さて、お昼食は何処に？さいか屋別館『ミュンヘン』へ、店員さんのエスコートで気分良く座る事ができました。ワイン付きの食事です。美味しいものには、顔の表情もやさし

くなるのです。中
野君の満足そうな
顔を、しつかり一
枚撮りました。



ら早々にゲーム終了。あつけない。
次はパチンコ店に。親切な店員さんが、座りやすい場所を搜してくださいます。その上遊び方まで教えてもらう。パチンコの早さに驚く。玉を入れて、ダイヤルに手を乗せると、ジヤラジヤラと大きな音に、一瞬手を離す中野君。次からは要領もわかり真剣に見つめる顔、チューリップに入り大満足して終わりました。

身近な街をのんびり散策して感じたことは、車椅子での外出がしやすくなつてきたと思います。

する態度が養われてきています。劇団には、障害の重い方が来ているので、途中声を出すこともありますがよろしくと言つてあります」とお聞きし、安心しました。

『「こどものへや』としては、次のような感想をお話しました。

○年齢の高い重度重複障害者を受け入れて下さり、貴重な社会参加の機会となつていて。

○親では与えきれないバラエティに富んだ演目。それに合わせて大きくな劇場・中・小ホール・学校の体育馆と、見る場所も多岐にわたり

卷之三

ただ、会員一人一人が分担している役割を、果たしていない事を心苦しく思っています。南おやこ劇場の取り組みに、心より感謝しています。

行きは浦賀駅から電車、金沢文庫

八景島シーパラダイスで大満足

乗り物大好きな
小田康雄君

ツカクテルを飲みながらいただき、少しく述べました。

食後、ベイマーケットを見てまわ
り、素敵なアロハシャツがあつたの

遊園地の乗り物も、ドランケン・

指導員

中田光子

緊張も、すぐとけて：

懐かしい先輩たちとの再会

山本道恵先生から

六月九日（月）から二週間、現場実習として、武山養護学校高等部三年生の飯干朝菜さんと一緒にお世話になりました。

二人とも初めての場所で、一日目は緊張しました。朝菜さんも「ここはどこかな？」と不思議そうな顔できよろきよろ見回していましたが、心配は無用でした。

朝の会の元気な歌声に迎えられ、名前の呼びかけにも笑顔で応える頃から、気持ちもほぐれていったようです。

ハープのお茶をいただいたり、合奏したり歌つたりする中で、すっかりうらとけて過ごし、おかげさまで実習が順調にスタートすることができました。

そしてその後は、花や畑を見ながらの散歩・調理・レストランに出かけての食事・合奏・皆様とのお話しにも朝菜さんのうれしそうな顔がありました。

二週間を終えた今、指導員の皆様の一人一人へのきめ細かな配慮のもとにつくられる温かい明るい雰囲気の中で、所員さんと同じように受け入れていただいたこと、楽しく過ごせたことに對し感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。皆様と知り会えたこと、そ



してこの経験を、これからの学校生活にいかしていきたいと思います。

最終日は台風のためお問い合わせ

お礼のご挨拶も申

し上げられず、失礼いたしました。

『こどものへや』のますますのご活躍をお祈り申し上げます。

その①：芸術劇場で（六月七日）

市民コーラスと森山良子のコンサート

食べ物では、おさしみ・豆腐・ラーメン・納豆・スイカ・ケーキなど

一人分はペロリです。

お風呂。風呂に入ると気持ちが良くていつも大きなあくびが出ます。

涼しい場所でのお昼寝。

！ よ 編 の 弘 ャ。

も歩くのが好きで、調子のよい時は軽く支えられて、近所

出番とも もい もい

立上りたい時すぐわかつ

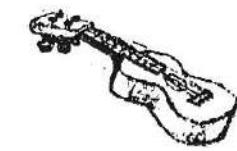
でも人に寝かされるのはイヤ。

散歩。家の中も外も両方とも

ドライブも大好き。他の車や外の

景色をよく見ます。

でも人に寝かされるのはイヤ。



『こどものへや』での実習は、懐かしい先輩達との再会です。

すっかり大人っぽくなり、逞しく感じました。朝菜が子どもっぽく見え、少しきたえなければと思いました。

かしい先輩達との再会です。

指導員さんのやさしい言葉かけやみんなで行つた散歩、レストランでの食事。父の日のプレゼントは、私も嬉しかつたです。

短期間でしたが、学校とは違つた環境の中で楽しく過ごすことが出来思いました。

ありがとうございました。

飯干美智代

一日・職員会議
八日・スポーツ教室
九日・清水先生の訓練
十二日・ハイランドバザー
十三日・ディズニーランド
・頌栄幼稚園バザー

四〇六日・朝顔ほうづき市

八日・スポーツ教室

・堀越君枝様

・高木洋美様

・上田順子様

・足立義子様

・松本登美子様

・沢田文子様

・山崎和子様

・藤井容子様

・川崎順子様

・白井広子様

（給食）

・谷 ゆう子様

・宮前洁子様

・細野清美様

・山口美津枝様

・飛栖郁子様

・山崎和子様

・川名道子様

・土川八重様

・大館百合子様

・堀田園子様

・熊本美枝子様

・堀越君枝様

・高木洋美様

・一柳八重様

七月行事予定

◇ご寄付

・外川セツ様

・高橋純也様

・高橋純也様

・堀越君枝様

・高木洋美様

・上田順子様

・足立義子様

・松本登美子様

・沢田文子様

・山崎和子様

・藤井容子様

・川崎順子様

・白井広子様

（給食）

・谷 ゆう子様

・宮前洁子様

・細野清美様

・山口美津枝様

・飛栖郁子様

・山崎和子様

・川名道子様

・土川八重様

・大館百合子様

・堀田園子様

・熊本美枝子様

・堀越君枝様

・高木洋美様

・一柳八重様

・高橋純也様

・堀越君枝様

・高木洋美様

・一柳八重様

・高橋純也様

重症児とかかわつて

在宅訪問指導

さき花の園

私が重症心身障害児と呼ばれる人達とかかわるようになつて、十五年程が過ぎました。長いようで、あつと言ふ間に過ぎてしましました。『小さき花の園』に勤めるようになって初めて接した訳で、驚きと戸惑いの毎日であります。もちろん障害をもつてゐる人達についての勉強もほとんどしていませんでした。重症児と呼ばれる人達を理解しようと思ふ年は夢中で勉強しようとしました。しかし本から得た知識だけでは、実際のかかわりの中で、期待した反応をしてくれることはほとんどありませんでした。つまり、こちらの枠組みでかかわろうとばかりしていたことに気がつくまで、随分と時間がかかりました。人はそれぞれ個々の見方感じ方があり、考えればそれは当たり前のことでした。しかし、その当たり前のことに気が付きにくいことが、重い障害を持つ人達（いや、障害を持たないに問わらず全ての人）に共通の事であろうと思いますが）とかかわる際の落とし穴になつてゐるよう思います。最近になり少しずつ相手の見方・感じ方を探るような視点から、かかわりが出来るようになつてきたよう思います。それでも本当に相手の方の理解が出来たかと言うと、おそらく一生かかつても解きえない課題に取り組んでいるのだろうと考えるこの頃です。

現在私は、在宅訪問指導という仕事を担当しています。既に成人を迎えた人も多くなりました。ご家族の方々の日常の介護の負担も大きくなり、訪問する度に日常生活を支える事の大変さを実感します。日常生活者にとつて一番の楽しみとは何だろう。障害の種類や程度によって異なるのだろうか。

わが家の殿大輔の場合はと言うと見る→本人の意思表示による（明るい、暗いは分かるみたい）
聞く→音には敏感に反応する
臭う→分かるみたいである
触る→熱い、冷たいの反応あり

意味わう→よく分かり好き嫌いあり

妹達の声かけに、時には二コ二コと、ある時は迷惑そうにする。お風呂も好きなよう大きな声を出したりする。
でも何と言つても一番の楽しみは、味わう、即ち食べるこ

とでしよう。好きな物は大きな口を開けて催促するし、食べっぷりも良い。嫌いな物となると口を一文字にして、あげくの果てにはブツと吐き出し、あちらこちらにまき散らします。三〇分から一時間かけて作つたミキサー食もかたなしです。この

『こどものへや』開所当時からの念願であつた、重度重複障害者が通える施設が建設のはこびとなりました。この施設を拠点として、重い障食事を準備する時に無くてはならぬ物、これがハンドミキサーです。乳児の離乳食用の手動式とコーヒーベ等を挽く電動式の二種類を使用します。殿の状態や食べ物の種類により使い分けます。

活が円滑に行われる事も、教育的な指導をする上で、大きな比重を占めてきている人達が多くなつてきました。そのためには一人の障害を持つ

と援助が必要であろうと考えます。多くの力の一部にでもなりえよう、今後とも努力していきたいと考えています。

八月行事予定

害のある方々やご家族が、地域で安心して普通に生活していくけるような様々な支援体制を作りあげていけるようになります。

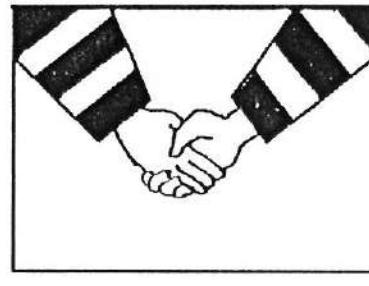
六月二十日に、県より福祉施設等施設整備費の国庫補助の内示を受け取りました。皆様には、取り組んでいることはお知らせしていましたが内示が出るまでは、具体的なお話ができませんでした。施設の概要は次の通りです。

◎ ありがとうございます

- ◇ 介助ボランティア
 - ・ 今江恭子様
 - ・ 村田光恵様
 - ・ 山口美津枝様
 - ・ 新矢正夫様
 - ・ 伊藤太郎様
 - ・ 外川セツ様
 - ・ 石川ひろ子様
 - ・ 成枝直美様
- (音楽教室)
 - ・ 山本利子様
 - ・ 新井光枝様
 - ・ 大野静枝様
- (ギター教室)
 - ・ 白井広子様
 - ・ 川崎順子様
 - ・ 藤井容子様
- (給食)
 - ・ 谷 ゆう子様
 - ・ 宮前浩子様
 - ・ 山田千代子様
 - ・ 山崎和子様
 - ・ 細野清美様
 - ・ 今江恭子様
 - ・ 山口美津枝様
 - ・ 三浦寿美恵様
 - ・ 飛栖郁子様
 - ・ 最上堯子様
 - ・ 小屋友江様
 - ・ 安田靖子様
 - ・ 川名道子様
 - ・ 杉原静子様
 - ・ 土川八重様
 - ・ 石田妙子様
 - ・ 大館百合子様
 - ・ 垂見和子様
 - ・ 堀田園子様
 - ・ 松本登美子様
 - ・ 大館百合子様
 - ・ 上田順子様
 - ・ 熊本美枝子様
 - ・ 足立義子様
 - ・ 堀越君枝様
 - ・ 高木洋美様
 - ・ 浦田啓子様
 - ・ 旭製作所様
 - ・ 武川圭一様
 - ・ ご 寄 付

こどものへや

発行責任者 滝川郁子
〒239 横須賀市長沢 1-12-30
TEL, FAX (0468) 49-8349



こどものへやの宿泊体験

「ノープロブレム」への道のり

宿泊は

初めの頃、家出同然の大きな荷物を持って泊まり込んだ職員でしたが、今や旅慣れた人の様に、必要最小限の荷物で気軽に所員と宿泊出来るようになりました。そこで所員の著しい成長と、職員の関わり方の過程を振り返って見ることにしました。

○緊張と不安の一回目

(夕方から翌朝まで)
所員も職員もあまり眠れない長い夜を過ごし、一晩とは言え、ご家族も心配だった事でしょう。何事もなく無事終わり、ほんのちょっと自信ができました。

○ちょっぴり余裕の二回目

(夕方から翌朝まで)
この年から、夜はレストランで楽しい食事へと発展。

○：まずまず快調の三回目

(朝十時～翌朝まで)

目的が二つ出来ました。
(1)長い時間、家族と離れて過ごしてみましょう。
(2)お母さんちよつと自由な時間を：所員と職員の信頼関係も

○小田君
その日「お母さん」はどのように過ごしましたか？

さて気になる夜から朝にかけての様子は？

昼食は両組共、ことことと手間をかけ、三時間煮込んだビーフカレー盛り沢山の野菜サラダです。部屋中広がる香りに、待ちきれない様子。皆食欲旺盛で、気持ちがいいくらいきれいにたいらげる。

朋美さんのアトピー用メニューの朝食も作りました。

○自画自賛の「朝食メニュー」公開

ごはん・吸物（わかめ、三つ葉）かぼちゃの茶巾しおり（醤油は使わず塩）・しらす・梅干し・ボテ

トサラダ・トマト・レタス・スクランブルエッグ（朋美さんには無しです）

朝食の鰹節のにおいにつられ、付近の猫が順番に朝の挨拶に！

回を重ねる毎に、良く眠れるようになり、寝酒用に買った杏酒も飲む機を失いました。

このように経験を重ね、成果があつた宿泊ですが、職員の間で話してわかつた事は、最初の頃は何か所員の喜ぶ事をサービスしようとあれこれ試みたりましたが、今年は自然にあるがままに、日常生活をそのまま所員共々、リラックスして過ごす事が出来た事です。

そして職員よりも、登所する回数の多い所員の方が、作業所に安心感や愛着を強く持っているのではないと感じられました。今では「こどものへや」は、家庭に準ずる第二の家になりました。

のあれこれに、興味の尽きるところがない。夜は二・三度自分の荷物を持って帰ろうとするが、外を見て（夜）を確認、「今夜はお母さんをゆっくり寝かせてあげようね」と話すと、納得して朝までぐっすりでした。

○福谷君

レストランでの食事がちょつと苦手だったはずの慎吾君が、牛肉のワイン煮をペロリと食べびっくり。昼寝もたっぷりして、夜の睡眠も家とあまり変わりありませんでした。朝食のフレンチトーストにメイプルシロップをかけ、おい

○向山さん

カラオケはマイクを持ち、大好きな歌にそれはそれは大喜びでした。去年と同様、落ち着いていて充君と秋の夜長をのんびりと楽しみました。

○滝川 充君

カラオケを一時間楽しんだ後、工ネルギー切れだった充君はデニーズで一口・二口食べる毎に、たちまち元気になり満足。帰宅後もギターやハーモニカ等に、ゆったりと過ごす事ができました。

しそうに食べました。

小田康雄君 福谷慎吾君
滝川 充君 向山朋美さん
中野真一君は残念な事に不参加

○福谷さん
最初は心配で、夜中何度も目が覚めた。だんだんゆっくりできたりました。去年はお寺巡りをしたが、今年はお父さんとゆっくりくつろいだ。

○向山さん
彼岸も近いので、実家の墓参りをして、その足で横浜に降り、東急ハンズでショッピングを楽しむ藤沢でお父さんとデートの約束があつたのに、横浜で疲れたので止めて（ちょっと残念、ぜひして欲しかったです）自宅の近くで二人で食事を楽しみました。

